

深川不動堂は、千葉県成田市にある成田山新勝寺の東京別院で、関東三十六不動霊場の第20番札所。江戸時代に、成田山新勝寺の不動明王の江戸出開帳(秘仏特別公開)が、富岡八幡宮の別当・永代寺で開かれたことが始まりだという。

境内は力強いエネルギーに満ち、高い浄化力があるそう。水の気が強い場所なので、朝方などの静また時間に参拝すると良い。願望成就や勝負必勝、立身出世、商売繁盛、怨敵調伏、病魔退散のご利益があるとされている。有名な護摩祈願は法螺貝の音色で始まり、大太鼓のリズミ



カルな大音声が高揚感を誘う。朱塗りの鳥居から深川不動堂まで続く約150メートルの参道が「人情深川ご利益通り」。名物深川めしのお

続きは月刊アミューズメントジャパン
5月号をご覧ください

パワースポットを巡る／深川不動堂 下町情緒と豊かな四季を感じる街



A／門前仲町駅を出てすぐ、永代通りから深川不動堂へつく約150mの参道が「人情深川ご利益通り」 B／近くの商店主は開店前の参拝が日課 C／足腰の厄災を願う「わらじ守り」 D／都心からのアクセスが良く、周辺には観光スポットが多いためカップルでの参拝も目立つ E／願かけの的は2月に設置された。毎月かわる絵馬掛けごと F／1703年、成田山の御本尊を江戸に奉持し特別拝観したことに始まる「深川のお不動様」

